

昨年度の話になりますが、生命の起源研究に関する国際学会、Origins 2014に行ってきました。この学会は3年に1度開かれるそうで、今回は日本の奈良市で開催、私は初めての参加でした。生命の起源という、分野外の方には何やら怪しげなものに感じられるかもしれませんが、科学における最も根源的かつ重要な問題の一つなので、研究の歴史は古く、参加者も多い大きな学会でした。研究内容は非常に分野横断的で、学会のセッションや参加者の専門分野も生物・化学・物理・宇宙・地学などと非常に多様で、普段は触れる機会の少ない話を聞ける、非常に面白く刺激に富む学会でした。



写真2：熱唱する元同僚。このあと、全員での合唱が延々と続く事に…。



写真1：学会で知り合ったNASAの研究者や元同僚と夕食。座敷の和室だったのでかなり好評でした。

私はRNAワールドのセッションで口頭発表を行いました、Jack Szostak博士、Gerald Joyce博士、Steven Benner博士、David Deamer博士など、この分野で著名な研究者が多数参加しており、彼らとディスカッションできたことは非常に有益でした。応用とはあまり繋がらない純然な基礎研究だからでしょうか、参加者は情熱的な人が多く、時々かなり激しい議論が見られたことも印象的でした。

本学会には私のフランス時代の同僚も数人来ており、また奈良は私の出身地でもあったため、いろいろと観光案内をさせられました。最も大変だったのは、元同僚が企画したカラオケ大会で、酔いが回った彼らがどんちゃん騒ぎを始め、全員での合唱が延々と続く状態になり、時間が来てもやめず、ついには代金を払わない人が続出し、私が立て替えるハメになったことです。同席されていた他の日本人の方のご協力もあり、翌日に回収できましたが、外人パワーを痛感した学会でした。

本学会には私のフランス時代の同僚も数人来ており、また奈良は私の出身地でもあったため、いろいろと観光案内をさせられました。最も大変だったのは、元同僚が企画したカラオケ大会で、酔いが回った彼らがどんちゃん騒ぎを始め、全員での合唱が延々と続く状態になり、時間が来てもやめず、ついには代金を払わない人が続出し、私が立て替えるハメになったことです。同席されていた他の日本人の方のご協力もあり、翌日に回収できましたが、外人パワーを痛感した学会でした。

(松村テニユアトラック教員 助教)

自然界は、様々な物質が化学反応を伴いながらエネルギー循環しています。好気性生物による呼吸と植物の行っている光合成とは、二酸化炭素と水、グルコースと酸素とが互いに循環し、まるで、それぞれの物質がエネルギーを運ぶキャリアーとして機能しているようにとらえることができます。我々のグループでは、「自然界の資源再生型エネルギー変換反応を志向した機能性金属錯体の創成」と題し、自然界に倣った循環型エネルギーシステム構築の一端を担うため、二酸化炭素・水・酸素・窒素などのありふれた物質を自在に活性化・変換することのできる金属錯体触媒の開発研究に取り組んでいます。私は、アメリカ、ミシガン州、トラバースシティのGrand Traverse Resort & Spa ホテルで開催された「International Symposium on the Photophysics and Photochemistry of Coordination Compounds 2013(ISPPCC 2013)」にて、「Twisted Distortion Effect on Photo-driven Hydrogenation Reactions of Ruthenium NAD Model Complexes」というタイトルで研究発表を行ってきました。ISPPCCは、配位化合物の光物理や光化学に取り組む世界中の研究者が参加する国際学会であり、今回で20回目という節目に参加・発表することができました。宿泊形式で学会が行われたこともあり、より多くの研究者と活発な議論・交流することができました。上写真のホテルのシンボルマークからもわかるように、近くにはアメリカ随一の美しさを誇るスリーピングベア国立湖滨公園があり、ロケーションも非常に良く、大変有意義な時間を過ごすことができました。



「Twisted Distortion Effect on Photo-driven Hydrogenation Reactions of Ruthenium NAD Model Complexes」というタイトルで研究発表を行ってきました。ISPPCCは、配位化合物の光物理や光化学に取り組む世界中の研究者が参加する国際学会であり、今回で20回目という節目に参加・発表することができました。宿泊形式で学会が行われたこともあり、より多くの研究者と活発な議論・交流することができました。上写真のホテルのシンボルマークからもわかるように、近くにはアメリカ随一の美しさを誇るスリーピングベア国立湖滨公園があり、ロケーションも非常に良く、大変有意義な時間を過ごすことができました。

(大津テニユアトラック教員 准教授)